

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第32号 令和2年12月4日（金）
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：55名
文責：（校長）河地浩太郎

新しいなかま「滝シカ」誕生！



右の絵は、児童会運営委員会が中心になって全児童に募集して作成した、滝尾小の新しいキャラクター「滝シカ」です。これまでは、「滝シシ」だけでしたが、新しい友だちを作ろうという理由で取り組んだものです。鼻の色は黄色で「明るく笑顔がたくさんある学校」を意味し、胸の「尾」の文字の色である緑は、滝尾の豊かな自然（森や木）を表しています。（ちなみに滝シシの「滝」は、青色で御船川を表しています。）そして、形も滝シシに似せたものになっています。運営委員会の子もたちが、よくみんなのアイデアを集約して作り上げたなと思います。今後、学校の中のいろいろな

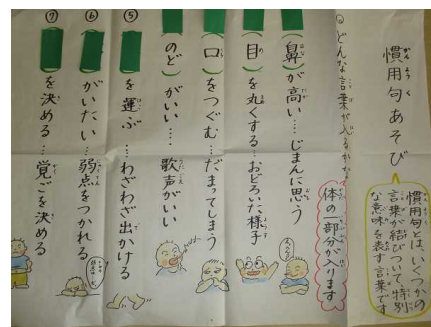


【滝シカを紹介する児童会】 場面で登場してくるのがとても楽しみです。



自己表現力を伸ばす（その11）「慣用句」を使う

日本語の中には、「慣用句」と言われる独特の言葉の使い方があります。例えば、「鼻が高い」とか「目を丸くする」といったものです。慣用句には、文字通りの意味とは違った意味があります。例えば「鼻が高い」とは「自慢に思うこと」また、「目を丸くする」とは「驚いた様子」といった具合です。右の写真は、校内に掲示してる「慣用句」です。実にたくさんあります。慣用句をうまく使うと、表現がより豊かになってくると思います。お家の会話の中でも使ってみるとおもしろいですね。



「9名全員入選」快挙です！

令和2年度の熊本県読書感想画コンクールに、本校の2年生9名が応募しましたら、何と全員が入選しました。これは、やろうと思ってもなかなかできることではありません。一人一人の作品を見ましたら、本を読んで思ったことがうまく、楽しく絵となって表現されています。子どもたちの豊かな感性が作品となっており、素晴らしいです。

〔令和2年度読書感想画入選〕

2年 角谷竜弥 さん 佐藤史龍さん
地部瑚乃実さん 千代島優さん
福島紫織 さん 七村知輝さん
藤岡大悟 さん 松下庵菜さん
横山沙恵来さん



竹箒をありがとうございました

11月30日（月）、下鶴の吉川喜美子さんが下梅木の吉村重美さんに依頼されて作られた、10本の竹箒を滝尾小に寄贈していただきました。その見事な出来栄えにビックリするとともに、学校のことを考えていただいていることをとてもありがたく思いました。落ち葉の多い時季ですので、ぜひ活用させていただきます。



ブランコがリニューアル



【きれいになったブランコ】

校舎東側にあるブランコを、教育委員会から塗装をし、ブランコ2本を付け足していただきました。出来上がると、さっそく子どもたちが乗って遊んでいました。遊具が少ない本校にとっても貴重な遊び場です。

「特別警戒レベル4」に

12月2日付の熊本日日新聞にも掲載されていましたが、前の週の新型コロナウイルス新規感染者数が多く、感性経路不明者も多かったことから、レベル4に引き上げられました。そのため、「同居の家族の方が発熱等の風邪症状が見られる場合、子どもたちの登校を控えていただく」こととなります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

